

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策03 危機管理の強化・充実	概ね適切

【参照：資料 - 29】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
【施策の環境変化】 <ul style="list-style-type: none"> ・短時間集中豪雨や過去にない強さの台風発生など自然環境変化の関連性も指摘されており、都市型災害などに対応する必要性 ・高齢化、独居、在宅介護等の要援護者の増加 	1つめの項目が「～対応する必要性」とあるが、これでは必要性がどうなのかわからない。	必要性が高まっているという意味なので、表現を見直す。

担当部署の評価内容	委員の意見
【施策の課題】 <ul style="list-style-type: none"> ・発災時の状況など自然環境や高齢化等の社会環境変化の要因がみられるので、減災の観点から地域に根ざした自助、共助の枠組みづくりが課題となる。 	高齢化社会に対応する手立てや取り組み等を加えて問題の緊急性を明確にする必要性があるのではないかと。
	地震については強い関心を持つ市民が多いと思うので、その部分は課題として詳らかにすることが望ましい。

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策03 危機管理の強化・充実 基本事業01 治水対策の強化	概ね適切

【参照：資料 - 30】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の目的】 市内の河川の改修・補修を行い、水害の起きにくい河川にします。また、内水による湛水被害を縮小するための施設整備を行い、危険な箇所を減らし市民が安全に暮らせるようにします。</p> <p>【対象】 江別市内の河川、内水排除施設</p>	<p>「内水」という表現が何を意味しているのかわかりにくい。</p>	<p>石狩川や千歳川のような川の流れているところを「外水」といい、人が住む市街地にある水を「内水」というのだが、よりわかりやすい表現について検討する。</p>

担当部署の評価内容	委員の意見
<p>【事業の成果指標】 36時間で総雨量125mmの降雨があったと想定した場合の湛水面積</p>	<p>達成状況に「堤防整備などの治水事業が進捗しており」とある以上は、成果指標の湛水面積は減少しているはずなのに、減少していないという報告では納得できない。成果指標というより活動指標にはなるが、例えば「治水事業の進捗率」などの指標にしないと、治水事業が何も進んでいないとしか読めない。数値化・指標化が可能であれば、入れておいたほうが市民にとってわかりやすいと思うので検討してほしい。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策03 危機管理の強化・充実 基本事業02 耐震施設の整備・促進	概ね適切

【参照：資料 - 30】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の達成状況】 S56年度以前に建築された建物は、耐震調査が必要となることから公共施設のうち、災害時指定避難所となる学校施設を中心に耐震調査を行っており、H22は市役所本庁舎のほか2校の耐震診断を実施。</p>	<p>「H22は市役所本庁舎のほか2校の耐震診断を実施」とあるが、耐震化の状況について記載がない。</p>	<p>4つの学校で耐震化をしているので、記載するようにする。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策03 危機管理の強化・充実 基本事業03 防災意識の醸成	概ね適切

【参照：資料 - 31】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
<p>【事業の達成状況】 自治会による訓練実施回数、自治会連合会による訓練実施回数とも微減となっている。江別市防災訓練を展示訓練から地域密着住民参加型へと変更したため、大幅減となった。</p>	<p>「展示訓練から地域密着住民参加型へと変更」という表現がわかりにくいので、例えば「展示型から体験型に変更」というようにした方がわかりやすい。</p>	<p>わかりやすい表現になるよう検討したい。</p>

政策04 安全で快適な都市生活の充実

評価項目	評価
施策03 危機管理の強化・充実 基本事業04 危機管理機能の強化	適切

【参照：資料 - 31】

担当部署の評価内容	委員会の指摘事項等	担当部署の対応
	指摘等無し	

担当部署の評価内容	委員の意見
【事業の成果指標】 ①家庭における生活物資の確保率 ②避難場所を知っている市民割合	行政として日頃から関係機関と「顔の見える」関係を築いていることと思うが、そのことがわかるような成果指標も必要なのではないか。
	成果指標だけ見ると備蓄は家庭に任せてしまっているように見えてしまう。市でも当然備蓄はしているだろうが、「何日分の備蓄量がある」といったことは市民も知りたいことだと思うので、指標化できないか検討してほしい。
【意見・提言】	阪神淡路大震災では行政の支援が整うまでに学校に駆け付けた教職員が重要な役割を担っていた。危機管理機能の強化という意味では、教職員をはじめとした公共施設に勤務する職員に対して意識的に防災教育を行うことが非常に重要だと思うので、そこに力を入れて取り組んでほしい。